

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 31′ 54.90″	
				経度	136° 14′ 24.30″	
大宮橋 (フリガナ)オオミヤハシ	大見線	滋賀県長浜市木之本町大見				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2017.11.2	河川:高時川	有	一般道	その他	-

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅲ	ゆるみ・脱落	吊材02 写真1			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	土砂詰まり	支承0101,0201(1,2径間) 写真2,3,4			
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	ケーブルバンドのゆるみが複数箇所で見られ、吊材の機能が消失すると一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性に影響を及ぼすことが懸念される。よって、橋梁構造の安全性の観点から、健全度はⅢとする。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)





架設年次	橋長	幅員
1991年	52.0m	1.90m
<div>起点</div> <div></div> <div>終点</div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

## 状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

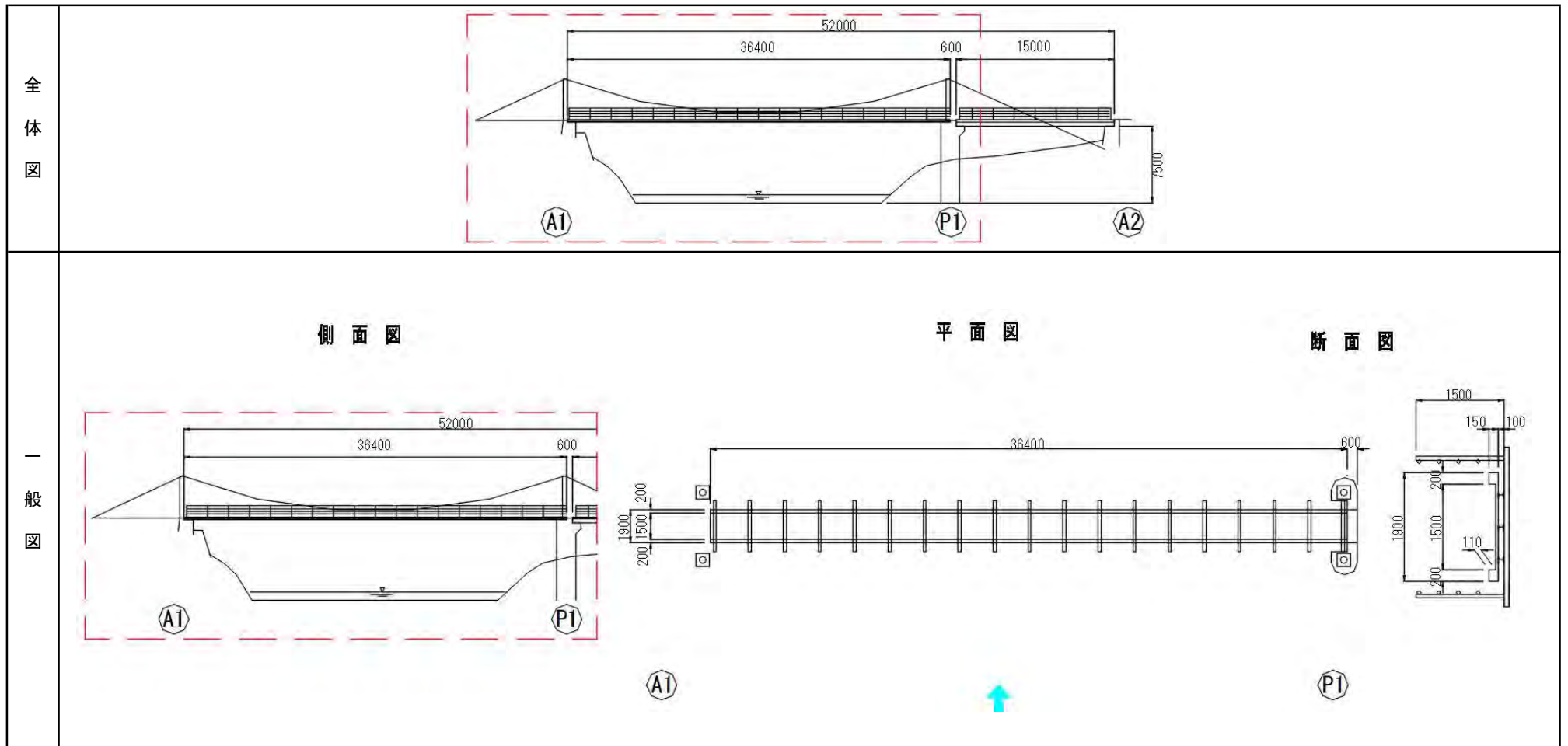
上部工(吊材)【判定区分: Ⅲ】	支承本体【判定区分: Ⅱ】
<p>写真01 吊材 ゆるみ・脱落</p> 	<p>写真01 支承本体 土砂詰まり (1径間)</p> 
支承本体【判定区分: Ⅱ】	支承本体【判定区分: Ⅱ】
<p>写真03 支承本体 土砂詰まり (1径間)</p> 	<p>写真04 支承本体 土砂詰まり (2径間)</p> 

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果					起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID										
起点側		経度		136° 14′ 24.304″		終点側		経度		136° 14′ 24.304″															
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線								橋梁コード		22505499								
所 在 地		自	滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自				管 轄					調書更新年月日		2018年1月31日						
		至	滋賀県長浜市木之本町大見					至									最新点検年月日		2017年11月2日						
供用開始日		1991年		橋長	52m		活荷重・等級		-			適用示方書		-			調 査 年								
上部構造形式		鋼橋_吊橋, 鋼橋_H形鋼			幅員	全 幅 員	1.90m		地覆幅	歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線	歩道幅		地覆幅	中央帯	中央分離帯	交通条件	交 通 量	台			
						有効幅員	1.50m		0.20m		1.50m	1	0.20m									昼間12時間			
下部構造形式		重力式橋台2橋, 壁式橋脚			備考																大型混入率		%		
基礎形式		直接基礎, 基礎形式不明																			荷 重 制 限		t		
総合検査結果	【橋梁の特徴】 本橋梁は、竣工から27年経過しており、吊り橋と鋼H形鋼橋の2径間で構成される橋梁である。高時川上流に架設されており、幅員1.9mの人道橋である。交通量は、極めて少ない。 【損傷の評価】 主桁:Ⅰ 横桁(他):Ⅲ 床版:Ⅰ 下部構造:Ⅰ 支承部:Ⅰ その他:Ⅱ 主 桁 :表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。 横 桁 :横桁、縦桁、下横構、塔柱、耐風支索吊材、塔部サドルに、表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。 (他) 吊材、耐風支索吊材、横桁のガゼットプレート、塔部サドルのボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察さる。特に、ケーブルバンドの接合ボルトのゆるみは、将来的にボルト脱落やバンドの滑り等により、吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性に影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。 床 版 :損傷なし。 下部構造 :橋脚梁部に、鉛直方向のひびわれが確認される。乾燥収縮が原因と推察され、ひびわれの進行は収束していると考えられる。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。 支 承 部 :アンカーボルトにゆるみが確認される。振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。また、支承周辺に土砂堆積が確認される。維持工事に対応することが望ましい。 そ の 他 :防護柵に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。橋面の滑り防止シートのはがれが、部分的に確認される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。 伸縮目地材(ゴム)の劣化が確認され、一部で脱落している。品質の経年変化により劣化しと推察される。また、排水管に、表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。 【健全度】 ケーブルバンドのゆるみが複数箇所で見えており、吊材の機能が消失すると一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性に影響を及ぼすことが懸念される。よって、橋梁構造の安全性の観点から、健全度はⅢとする。																			健全度 (橋単位)		Ⅲ			



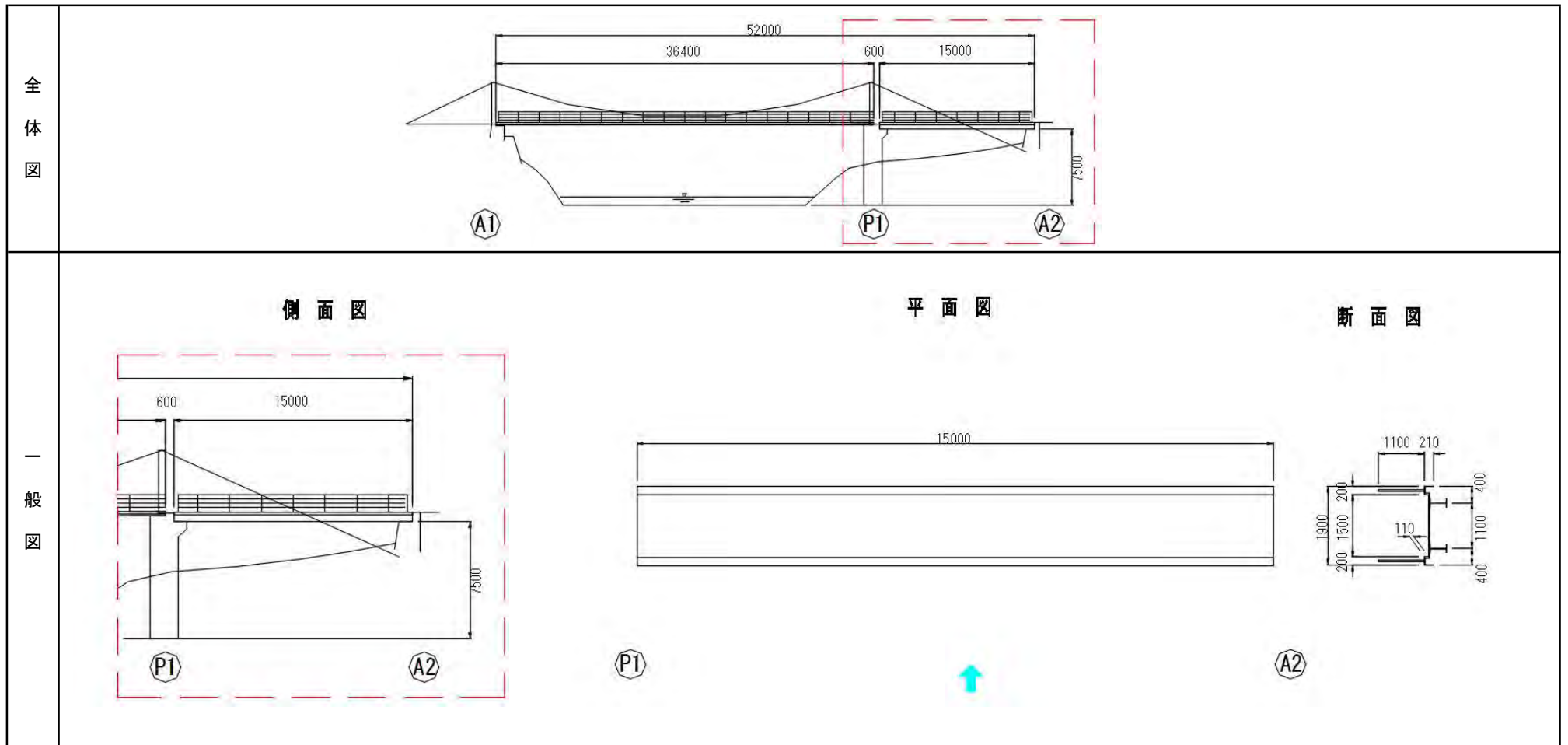
点検調書(その2) 径間別一般図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
				経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハン 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至					



点検調書(その2) 径間別一般図	径 間 番 号	2	起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
				経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハン 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至					



点検調書(その3) 現地状況写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID				
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線			管 轄						橋梁コード		22505499		
所 在 地		自 滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自									調書更新年月日		2018年1月31日		
		至 滋賀県長浜市木之本町大見					至													
現 地 状 況 写 真	写真番号		1			撮影年月日		2017年11月2日			写真番号		2			撮影年月日		2017年11月2日		
	径間番号		1					メ        モ			径間番号		1					メ        モ		
	写真説明		正面					起点から終点を望む			写真説明		橋面					起点から終点を望む		
																				
	写真番号		3			撮影年月日		2017年11月2日			写真番号		4			撮影年月日		2017年11月2日		
	径間番号		1					メ        モ			径間番号		1					メ        モ		
	写真説明		側面					下流側から撮影 (起点:写真右側)			写真説明		側面					上流側から撮影 (起点:写真右側)		
																				

点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		2		起点側         緯度 35° 31' 54.898"         経度 136° 14' 24.304"		終点側         緯度 35° 31' 54.898"         経度 136° 14' 24.304"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		オオミヤハシ 大宮橋		路線名		大見線				橋梁コード		22505499				
所在地		自 滋賀県長浜市木之本町大見		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2018年1月31日		
		至 滋賀県長浜市木之本町大見				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		5		撮影年月日		2017年11月2日		写真番号		6		撮影年月日		2017年11月2日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		桁下				起点から終点を望む		写真説明		作業状況					
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	径間番号				メ		モ		径間番号				メ		モ	
	写真説明								写真説明							



点検調書(その3) 現地状況写真				径 間 番 号		2		起点側		緯度		35° 31′ 54.898″		終点側		緯度		35° 31′ 54.898″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線										橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至															

現 地 状 況 写 真	写真番号		1				撮影年月日		2017年11月2日				写真番号		2				撮影年月日		2017年11月2日			
	径間番号		2						メ      モ				径間番号		2						メ      モ			
	写真説明		正面										写真説明		橋面									
									起点から終点を望む												起点から終点を望む			
	写真番号		3				撮影年月日		2017年11月2日				写真番号		4				撮影年月日		2017年11月2日			
	径間番号		2						メ      モ				径間番号		2						メ      モ			
	写真説明		側面										写真説明		側面									
									下流側から撮影 (起点:写真右側)												上流側から撮影 (起点:写真右側)			

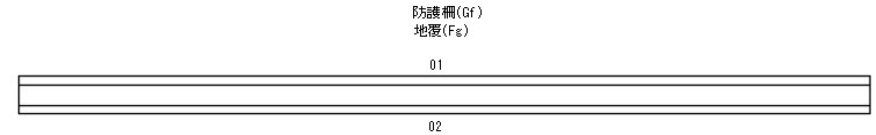
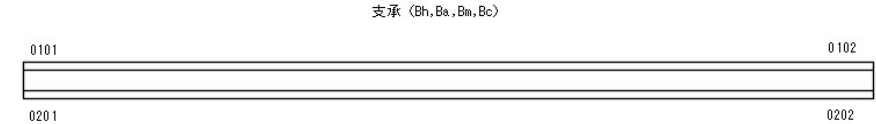
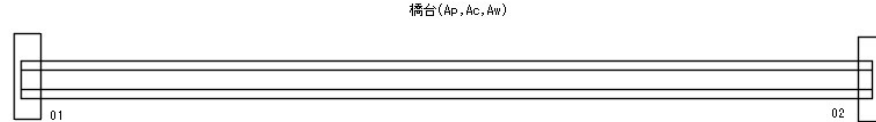
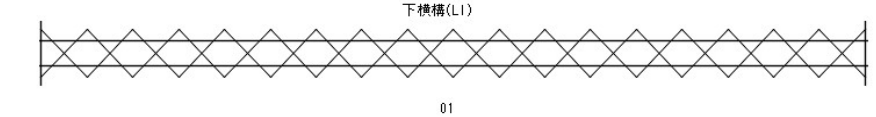
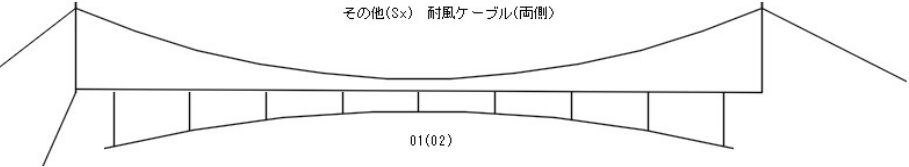
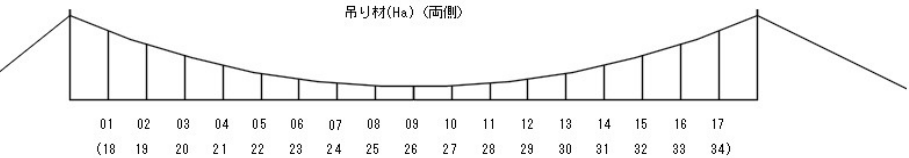
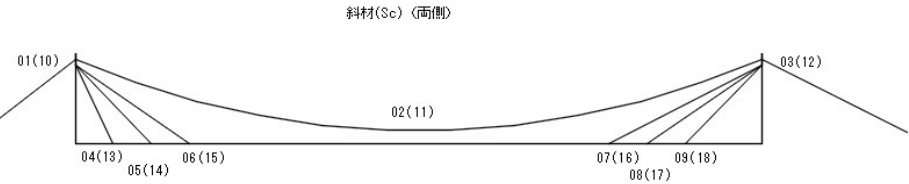
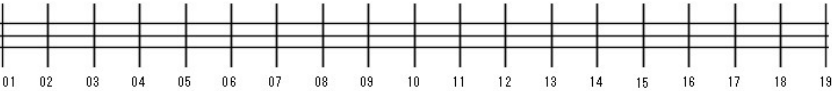


点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		2		起点側         緯度 35° 31' 54.898"         経度 136° 14' 24.304"		終点側         緯度 35° 31' 54.898"         経度 136° 14' 24.304"		橋梁ID						
フリガナ 橋梁名		オオミヤハシ 大宮橋		路線名		大見線				橋梁コード		22505499					
所在地		自		滋賀県長浜市木之本町大見		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見				至									
現 地 状 況 写 真	写真番号		5		撮影年月日		2017年11月2日		写真番号		6		撮影年月日		2017年11月2日		
	径間番号		2		メ		モ		径間番号		2		メ		モ		
	写真説明		桁下				起点から終点を望む		写真説明		作業状況						
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日				
	径間番号				メ		モ		径間番号				メ		モ		
写真説明								写真説明									

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
				経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至					

【部材番号】



要素番号図及び部材番号図

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号	2	起点側		緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
							経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至					

【部材番号】

主桁(Mg)

01
02

横桁(Cr)

01	02	03	04	05	06	07	08	09
----	----	----	----	----	----	----	----	----

床版(Ds)

01
----

橋台(Ap, Ac, Aw)

01	02
----	----

支承 (Bh, Ba, Bm, Bc)

0101		0102
0201		0202

防護柵(Gf)  
地覆(Fg)

01
02

舗装 (Pm)

01
----

排水管 (Dp)

01 ◯	02 ◯
03 ◯	04 ◯

要素番号図及び部材番号図

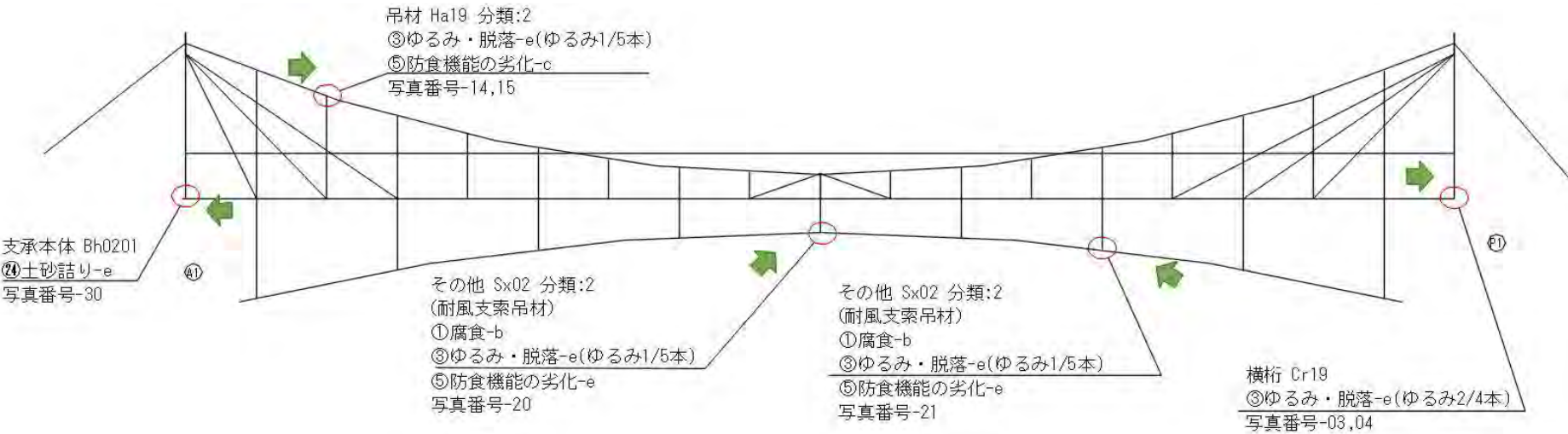






点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"		


フリガナ 橋梁名	オオミヤハシ 大宮橋	路線名	大見線		管轄		橋梁コード	22505499
所在地	自 滋賀県長浜市木之本町大見	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至 滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

損傷図	<p data-bbox="241 475 450 504">【側面・上流側】</p>  <p data-bbox="689 751 1003 863">吊材 Ha19 分類:2 ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ1/5本) ⑤防食機能の劣化-c 写真番号-14,15</p> <p data-bbox="241 1023 405 1102">支承本体 Bh0201 ④土砂詰り-e 写真番号-30</p> <p data-bbox="741 1070 1055 1230">その他 Sx02 分類:2 (耐風支索吊材) ①腐食-b ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ1/5本) ⑤防食機能の劣化-e 写真番号-20</p> <p data-bbox="1218 1078 1532 1246">その他 Sx02 分類:2 (耐風支索吊材) ①腐食-b ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ1/5本) ⑤防食機能の劣化-e 写真番号-21</p> <p data-bbox="1693 1174 2007 1254">横桁 Cr19 ③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ2/4本) 写真番号-03,04</p>	
-----	--	--



点検調書(その5) 損傷図			径間番号	1	起点側		緯度	35° 31' 54.898"	終点側		緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
							経度	136° 14' 24.304"			経度	136° 14' 24.304"		

フリガナ 橋梁名	オオミヤハシ 大宮橋		路線名	大見線		管轄		橋梁コード	22505499
所在地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距離標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

損 傷 図	<p>【橋面】</p>  <p>防護柵 Gf02 分類:1 ①腐食-b ⑤防食機能の劣化-e 写真番号-31 (01も同一損傷である)</p>

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

損傷図

【橋台01・塔柱・基礎】

下流側

起点側

上流側

上流側

終点側

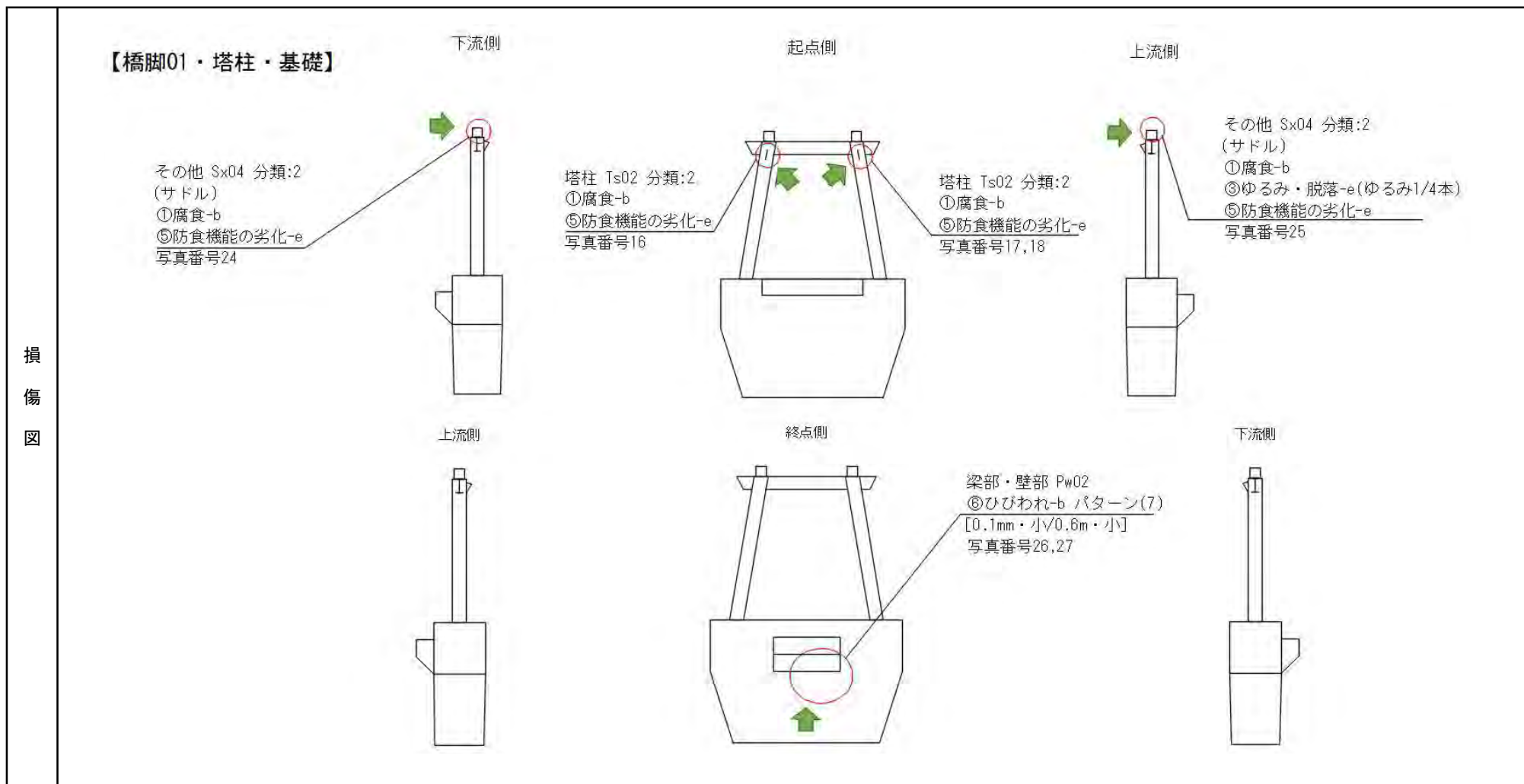
下流側

その他 Sx03 分類:2  
(サドル)  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号22

その他 Sx03 分類:2  
(サドル)  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号23

点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"	

フリガナ 橋 梁 名	オミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日





点検調書(その5) 損傷図	径間番号	2
---------------	------	---

起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID
	經度	136° 14' 24.304"		經度	136° 14' 24.304"	

フリガナ 橋 梁 名	オミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調査更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

損傷図

【桁下】

主桁 Mg01 分類:2  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号32

排水管 Dp02 分類:2  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号46

アンカーボルト Ba0102  
③ゆるみ・脱落-e  
(ゆるみ2/2本)  
写真番号38,39

伸縮装置02  
②③変形・欠損-c  
写真番号44,45

主桁 Mg02 分類:2  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号33

アンカーボルト Ba0202  
③ゆるみ・脱落-e  
(ゆるみ1/2本)  
写真番号40,41

排水管 Dp03 分類:2  
①腐食-b  
⑤防食機能の劣化-e  
写真番号47,48

支承本体 Bh0201 分類:2  
⑤防食機能の劣化-c  
アンカーボルト Ba0201  
③ゆるみ・脱落-e(ゆるみ1/2本)  
写真番号34,36,37



フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

損  
傷  
図

【橋台02・基礎】

下流側

起点側

上流側

支承本体 Bh0102  
 ㊦土砂詰り-e  
 写真番号35  
 (Bh0202も同一損傷である)

点検調書(その6) 損傷写真				径間番号		1		起点側 緯度 35° 31' 54.898" 経度 136° 14' 24.304"		終点側 緯度 35° 31' 54.898" 経度 136° 14' 24.304"		橋梁ID			
----------------	--	--	--	------	--	---	--	--	--	--	--	------	--	--	--

フリガナ 橋梁名		オミヤハシ 大宮橋		路線名		大見線						橋梁コード		22505499	
所在地		自 滋賀県長浜市木之本町大見		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2018年1月31日	
		至 滋賀県長浜市木之本町大見				至						最新点検年月日		2017年11月2日	





  

損傷写真	写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	横桁	部材番号	19	メ モ		部材名	横桁	部材番号	19	メ モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	ガゼットプレートのボルトにゆるみが確認される。(ゆるみ2/4本)		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-01 近景	
												
	写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	横桁	部材番号	19	メ モ		部材名	横桁	部材番号	19	メ モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	ガゼットプレートボルトにゆるみが確認される。(ゆるみ2/4本)		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-03 近景	
												



点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
			経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"			

フリガナ 橋梁名	オミヤハシ 大宮橋	路線名	大見線	管轄		橋梁コード	22505499
所在地	自 滋賀県長浜市木之本町大見	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至 滋賀県長浜市木之本町大見		至			最新点検年月日	2017年11月2日

損傷写真	写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	縦桁	部材番号	03	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化(e) 分類:2 局所的に、防食塗膜が劣化し、 錆が視認される。		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	床版:縦桁との接合部にゆるみ が確認される。(1本) 横桁:腐食-b 防食機能の劣化-e 局所的に、防食塗膜が劣化し、 錆が視認される。板厚減少は視 認できない。	
												
	写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-06 近景		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	縦桁との接合ボルトにゆるみが 確認される。(2本)	
												

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 31′ 54.898″		終点側		緯度		35° 31′ 54.898″		橋梁ID					
		経度		136° 14′ 24.304″								経度		136° 14′ 24.304″											
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線										橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至												最新点検年月日		2017年11月2日	

損 傷 写 真	写真番号		9		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		10		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		床版		部材番号		01		メ		モ		部材名		横構(下横構)		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		写真-08 近景		損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 局所的に、防食塗膜が劣化し、 錆が視認される。板厚減少は、 視認できない。					
																								
	写真番号		11		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		12		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		吊材		部材番号		01		メ		モ		部材名		吊材		部材番号		03		メ		モ	
損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		防食機能の劣化-c 分類:2		損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		防食機能の劣化-c 分類:2						
						斜材、吊材の接合プレート部ボルトのゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、局所的な防食塗膜の劣化が確認される。								斜材、吊材の接合プレート部ボルトのゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、局所的な防食塗膜の劣化が確認される。										



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度35° 31′ 54.898″ 経度136° 14′ 24.304″		終点側		緯度35° 31′ 54.898″ 経度136° 14′ 24.304″		橋梁ID				
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線							橋梁コード		22505499				
所 在 地		自	滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自				管 轄				調書更新年月日		2018年1月31日	
		至	滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日	
損 傷 写 真	写真番号	13	径間番号	1	撮影年月日		2017/11/2		写真番号	14	径間番号	1	撮影年月日		2017/11/2					
	部材名	吊材	部材番号	05	メ                  モ				部材名	吊材	部材番号	19	メ                  モ							
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	防食機能の劣化-c 分類:2				損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	防食機能の劣化-c 分類:2							
					斜材、吊材の接合プレート部ボルトのゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、局所的な防食塗膜の劣化が確認される。								斜材、吊材の接合プレート部ボルトのゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、局所的な防食塗膜の劣化が確認される。							
	写真番号	15	径間番号	1	撮影年月日		2017/11/2		写真番号	16	径間番号	1	撮影年月日		2017/11/2					
	部材名	吊材	部材番号	14	メ                  モ				部材名	塔柱	部材番号	02	メ                  モ							
損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-14 近景				損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 塔柱プレート溶接部に、表面的な腐食が確認される。板厚減少は視認できない。								
																				





点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線							橋梁コード		22505499								
所 在 地		自 滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自			管 轄				調書更新年月日		2018年1月31日								
		至 滋賀県長浜市木之本町大見					至							最新点検年月日		2017年11月2日								
損 傷 写 真	写真番号		17		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		18		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		塔柱		部材番号		02		メ		モ		部材名		塔柱		部材番号		02		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		b		塔柱プレート溶接部に、表面的な腐食が確認される。板厚減少は視認できない。 防食機能の劣化-e 分類:2		損傷の種類		腐食		損傷程度		b		写真-17 近景					
																								
	写真番号		19		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		20		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
部材名		その他(耐風支索吊材)		部材番号		01		メ		モ		部材名		その他(耐風支索吊材)		部材番号		02		メ		モ		
損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		防食機能の劣化-c 分類:2 耐風支索吊材接合プレート部のボルトにゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、局所的な防食塗膜の劣化が確認される。		損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		腐食-b 防食機能の劣化-e 分類:2 耐風支索吊材接合プレート部のボルトにゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、表面的な腐食が部分的に確認される。板厚原減少は視認できない。						
																								



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 31′ 54.898″		終点側		緯度		35° 31′ 54.898″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線								橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自						管 轄				調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至										最新点検年月日		2017年11月2日	

損 傷 写 真	写真番号		21		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		22		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		その他(耐風支索吊材)				部材番号		02		メ      モ		部材名		その他(サドル)				部材番号		03		メ      モ	
	損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		腐食-b 防食機能の劣化-e 分類:2 耐風支索吊材接合プレート部のボルトにゆるみが確認される(ゆるみ1/5本)。また、表面的な腐食が部分的に確認される。板厚原減少は視認できない。				損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が、部分的に確認される。板厚減少は視認できない。			
																								
	写真番号		23		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		24		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		その他(サドル)				部材番号		03		メ      モ		部材名		その他(サドル)				部材番号		04		メ      モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が、部分的に確認される。板厚減少は視認できない。				損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が、部分的に確認される。板厚減少は視認できない。			
																								



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 31′ 54.898″		終点側		緯度		35° 31′ 54.898″		橋梁ID					
										経度		136° 14′ 24.304″				経度		136° 14′ 24.304″							
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線										橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至												最新点検年月日		2017年11月2日	
損 傷 写 真	写真番号		25		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		26		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		
	部材名		その他(サドル)		部材番号		04		メ		モ		部材名		下部工(梁部・壁部)		部材番号		02		メ		モ		
	損傷の種類		ゆるみ・脱落		損傷程度		e		腐食-b 防食機能の劣化-e 分類:2 サドルのメインケーブルカバー プレートのボルトにゆるみが確 認される(ゆるみ1/4本)。また、 表面的な腐食が、部分的に確認 される。板厚減少は視認できな い。		損傷の種類		ひびわれ		損傷程度		b(7)		橋脚梁部に、鉛直方向のひび われが確認される。 [0.10mm・小/0.6m・小]						
																									
	写真番号		27		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		28		径間番号		1		撮影年月日		2017/11/2		
部材名		下部工		部材番号		02		メ		モ		部材名		支承本体		部材番号		0101		メ		モ			
損傷の種類		ひびわれ		損傷程度		b(7)		写真-26 近景		損傷の種類		土砂詰まり		損傷程度		e		支承周辺に、土砂の堆積が確 認される。(撮影時、土砂の除去 を実施)							
																									

点検調書(その6) 損傷写真				径間番号		1		起点側 緯度 35° 31' 54.898" 経度 136° 14' 24.304"		終点側 緯度 35° 31' 54.898" 経度 136° 14' 24.304"		橋梁ID			
----------------	--	--	--	------	--	---	--	--	--	--	--	------	--	--	--

フリガナ 橋梁名		オミヤハシ 大宮橋		路線名		大見線				橋梁コード		22505499			
所在地		自 滋賀県長浜市木之本町大見		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2018年1月31日	
		至 滋賀県長浜市木之本町大見				至						最新点検年月日		2017年11月2日	

損傷写真	写真番号	29	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	30	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	写真-28 近景・除去		損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	支承周辺に、土砂の堆積が確認される。(撮影時、土砂の除去を実施)	
												
	写真番号	31	径間番号	1	撮影年月日	2017/11/2	写真番号		径間番号		撮影年月日	
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1 防護柵に、表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。		損傷の種類		損傷程度			
												

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		2		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄		橋梁コード				22505499			
所 在 地		自 滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自		調書更新年月日								2018年1月31日			
		至 滋賀県長浜市木之本町大見						至										2017年11月2日			

損 傷 写 真	写真番号		32		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		33		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ                      モ				部材名		主桁		部材番号		02		メ                      モ			
	損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。				損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。			
																								
	写真番号		34		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		35		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		支承本体		部材番号		0201		メ                      モ				部材名		支承本体		部材番号		0102		メ                      モ			
	損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。				損傷の種類		土砂詰まり		損傷程度		e		支承周辺に、土砂の堆積が確認される。			
																								



点検調査(その6) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"		

フリガナ 橋梁名	オオミヤハシ 大宮橋	路線名	大見線	管轄		橋梁コード	22505499
所在地	自 滋賀県長浜市木之本町大見	距離標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至 滋賀県長浜市木之本町大見		至			最新点検年月日	2017年11月2日

損 傷 写 真	写真番号	36	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	37	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	アンカーボルト	部材番号	0201	メ      モ		部材名	アンカーボルト	部材番号	0201	メ      モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	アンカーボルトのゆるみが確認される。(ゆるみ1/2本)		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-36 近景・除去	
												
	写真番号	38	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	39	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	アンカーボルト	部材番号	0102	メ      モ		部材名	アンカーボルト	部材番号	0102	メ      モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	アンカーボルトのゆるみが確認される。(ゆるみ2/2本)		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-38 近景	
												

点検調書(その6) 損傷写真					径 間 番 号		2		起 点 側		緯 度		35° 31′ 54.898″		終 点 側		緯 度		35° 31′ 54.898″		橋 梁 ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線									橋 梁 コード		22505499						
所 在 地		自	滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自				管 轄				調書更新年月日		2018年1月31日						
		至	滋賀県長浜市木之本町大見					至								最新点検年月日		2017年11月2日						


損 傷 写 真	写真番号	40	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	41	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	アンカーボルト	部材番号	0202	メ      モ		部材名	アンカーボルト	部材番号	0202	メ      モ	
	損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	アンカーボルトのゆるみが確認される。(ゆるみ1/2本)		損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e	写真-40 近景	
												
	写真番号	42	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2	写真番号	43	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2
	部材名	舗装	部材番号	01	メ      モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ      モ	
損傷の種類	その他(剥がれ)	損傷程度	e	橋面の滑り防止シートの部分的なはがれが確認される。		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:1 防護柵に、表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。		
												



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		2		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋			路 線 名		大見線								橋梁コード		22505499							
所 在 地		自	滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自				管 轄					調書更新年月日		2018年1月31日					
		至	滋賀県長浜市木之本町大見					至									最新点検年月日		2017年11月2日					
損 傷 写 真	写真番号		44		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		45		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2	
	部材名		伸縮装置		部材番号		02		メ		モ		部材名		伸縮装置		部材番号		02		メ		モ	
	損傷の種類		変形・欠損		損傷程度		c		伸縮目地材(ゴム)の劣化が確認され、一部で脱落している。				損傷の種類		変形・欠損		損傷程度		e		写真-44 近景			
																								
	写真番号		46		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2		写真番号		47		径間番号		2		撮影年月日		2017/11/2	
部材名		排水管		部材番号		02		メ		モ		部材名		排水管		部材番号		03		メ		モ		
損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 排水管に、表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。				損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防食機能の劣化-e 分類:2 排水管に、表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。				
																								

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"		

フリガナ 橋梁名	オミヤハシ 大宮橋	路線名	大見線			橋梁コード	22505499
所在地	自 滋賀県長浜市木之本町大見	距離標	自		管轄	調書更新年月日	2018年1月31日
	至 滋賀県長浜市木之本町大見		至			最新点検年月日	2017年11月2日

損傷写真	写真番号	48	径間番号	2	撮影年月日	2017/11/2	写真番号		径間番号		撮影年月日	
	部材名	排水管	部材番号	03	メ      モ		部材名		部材番号		メ      モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	防食機能の劣化-e 分類:2 排水管に、表面的な腐食が局部的に確認される。板厚減少は視認できない。		損傷の種類		損傷程度			
												
	写真番号		径間番号		撮影年月日		写真番号		径間番号		撮影年月日	
	部材名		部材番号		メ      モ		部材名		部材番号		メ      モ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括					径 間 番 号		1		起点側		緯度35° 31′ 54.898″		経度136° 14′ 24.304″		終点側		緯度35° 31′ 54.898″		経度136° 14′ 24.304″		橋梁ID						
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋梁コード		22505499							
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日							
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日							
工 種		材 料		部材種別				今回定期点検				点検日		2017年11月2日				前回定期点検				点検日		年 月 日			
				名称		記号		部材番号		損傷の種類(程度)								損傷の種類(程度)									
S		S		横桁		Cr		01		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		02		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		03		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		04		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		05		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		06		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		07		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		08		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		09		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		10		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		11		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		12		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		13		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		14		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	
S		S		横桁		Cr		15		腐食(b).防食機能の劣化(e)																	

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"	

フリガナ 橋 梁 名	オミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日		前回定期点検	点検日	年 月 日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	S	横桁	Cr	16	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	17	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	18	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	横桁	Cr	19	腐食(b).ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(c)					
S	S	縦桁	St	01	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	縦桁	St	02	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	縦桁	St	03	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	横構	LI	01	腐食(b).防食機能の劣化(c)					
S	S	吊材	Ha	01	ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(c)					
S	S	吊材	Ha	03	ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(c)					
S	S	吊材	Ha	05	ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(c)					
S	S	吊材	Ha	19	ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(c)					
S	S	塔柱	Ts	02	腐食(b).防食機能の劣化(e)					
S	S	その他(耐風支索吊材)	Sx	00	腐食(b).ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(e)					
S	S	その他(サドル)	Sx	00	腐食(b).ゆるみ・脱落(e).防食機能の劣化(e)					
P	C	下部工	Pw	02	ひびわれ(b(7))					

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"	

フリガナ 橋 梁 名	オミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋 梁 コー ド	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

[illegible]





点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性									
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷									
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更 新	区分E1 の損傷			更 新	区分E2 の損傷							
S	S	横桁	Cr	01	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	01	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	02	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID						
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線			管 轄						橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自										調書更新年月日		2018年1月31日		
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至													最新点検年月日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原 因		健全度 (部材単位)	所 見						
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性										
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定								
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷							更新	区分E2 の損傷				
S	S	横桁	Cr	02	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。					
S	S	横桁	Cr	03	b	b	腐食									⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。					
S	S	横桁	Cr	03	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。					

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID							
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋 梁 コー ド		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自														調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至																	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見											
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性																	
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定															
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷													
S	S	横桁	Cr	04	b	b	腐食													⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								
S	S	横桁	Cr	04	e	e	防食機能の劣化													⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								
S	S	横桁	Cr	05	b	b	腐食													⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋梁コード		22505499	
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至										最新点検年月日		2017年11月2日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見							
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性													
							区分B の損傷	区分Cの損傷				区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定									
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新			区分E1 の損傷	更新							区分E2 の損傷						
S	S	横桁	Cr	05	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。						
S	S	横桁	Cr	06	b	b	腐食											⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。						
S	S	横桁	Cr	06	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。						



点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋 梁 コー ド		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自														調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至														最新点検年月日		2017年11月2日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因				健全度 (部材単位)	所 見									
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性		確 定	推 定														
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷																	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷			更新			区分E2 の損傷													
S	S	横桁	Cr	07	b	b	腐食											⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。										
S	S	横桁	Cr	07	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。										
S	S	横桁	Cr	08	b	b	腐食											⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。										

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋梁コード		22505499	
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見							
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性													
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷												
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新			区分E2 の損傷											
S	S	横桁	Cr	08	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							
S	S	横桁	Cr	09	b	b	腐食										⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							
S	S	横桁	Cr	09	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID							
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋梁コード		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自														調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至																	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因				健全度 (部材単位)	所 見									
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性																
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定														
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新					区分E2 の損傷													
S	S	横桁	Cr	10	b	b	腐食													⑥材料劣化			I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							
S	S	横桁	Cr	10	e	e	防食機能の劣化													⑥材料劣化			I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							
S	S	横桁	Cr	11	b	b	腐食													⑥材料劣化			I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。							

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径 間 番 号	1
-------------------------------	---------	---

起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
	経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋 梁 コー ド	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷				区分M の損傷	区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷			
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新			区分E1 の損傷	更新	区分E2 の損傷					
S	S	横桁	Cr	11	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	12	b	b	腐食										⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	横桁	Cr	12	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性									
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定	推 定							
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷					
S	S	横桁	Cr	13	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	13	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	14	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				



点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄								橋 梁 コー ド		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自														調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至														最新点検年月日		2017年11月2日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因				健全度 (部材単位)	所 見									
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性				詳細調査の 必要性		確定	推定											
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷																
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新			区分E2 の損傷															
S	S	横桁	Cr	14	e	e	防食機能の劣化													⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								
S	S	横桁	Cr	15	b	b	腐食													⑥材料劣化		I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								
S	S	横桁	Cr	15	e	e	防食機能の劣化													⑥材料劣化		I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。								

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性									
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定	推 定							
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更 新	区分E1 の損傷					更 新	区分E2 の損傷					
S	S	横桁	Cr	16	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	16	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	17	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋梁コード		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調査更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性								
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定							
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷					
S	S	横桁	Cr	17	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	18	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	横桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	横桁	Cr	18	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	横桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)						径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄								橋 梁 コー ド		22505499					
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自														調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至																	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原 因		健全度 (部材単位)	所 見									
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性														
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定			推定								
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷							更新	区分E2 の損傷						
S	S	横桁	Cr	19	b	b	ゆるみ・ 脱落																	横桁ガゼットプレートのボルトに ゆるみが確認される。歩行者、 風等による振動の影響によると 推察され、今後、その他部位へ の損傷の影響が懸念される為、 状況に応じて補修等を行うこと が望ましい。			
S	S	横桁	Cr	19	b	b	腐食																	横桁に表面的な腐食が局部的 に確認される。品質の経年変化 及び雨水等の影響による材料 劣化が原因である。板厚減少等 は見られないが、今後、腐食の 進行が懸念される為、状況に応 じて補修等を行うことが望まし い。			
S	S	横桁	Cr	19	e	e	防食機 能の劣 化																	横桁全体の防食塗膜が劣化し、 点錆が生じている。品質の経年 変化及び雨水等の影響による 材料劣化が原因である。今後、 更に腐食の進行が懸念される 為、状況に応じて補修等を行う ことが望ましい。			

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 経度		35° 31′ 54.898″ 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性									
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定	推 定							
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷					
S	S	縦桁	St	01	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	縦桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	縦桁	St	01	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	縦桁	St	02	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	縦桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				



点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 31' 54.898"	終点側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID	
				経度	136° 14' 24.304"		経度	136° 14' 24.304"		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋			路 線 名	大見線		管 轄		橋 梁 コー ド	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標	自			調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見				至			最新点検年月日	2017年11月2日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新		区分E1 の損傷	更新	区分E2 の損傷						
S	S	縦桁	St	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	03	b	b	腐食										⑥材料劣化		I	縦桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
S	S	縦桁	St	03	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	縦桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線			管 轄						橋梁コード		22505499		
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自							調書更新年月日		2018年1月31日		
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至							最新点検年月日		2017年11月2日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性						
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷					更新		
S	S	吊材	Ha	01	e	e			ゆるみ・ 脱落									⑦その他 (振動)	Ⅲ	ケーブルバンドの接合ボルトにゆるみが確認される。歩行者や風等による振動の影響によると推察される。将来的にボルト脱落やバンドの滑り等により、吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。
S	S	吊材	Ha	01	c	c	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	吊材全体の防食塗膜が劣化している。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修を行うことが望ましい。	
S	S	吊材	Ha	03	e	e			ゆるみ・ 脱落									⑦その他 (振動)	Ⅲ	ケーブルバンドの接合ボルトにゆるみが確認される。歩行者や風等による振動の影響によると推察される。将来的にボルト脱落やバンドの滑り等により、吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。

点検調書（その10） 対策区分判定結果 （主要部材）							径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋					路 線 名		大見線			管 轄							橋梁コード		22505499			
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見			距 離 標		自										調書更新年月日		2018年1月31日			
		至		滋賀県長浜市木之本町大見					至										最新点検年月日		2017年11月2日			
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 （部材単位）	所 見				
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性										
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定								
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷						
S	S	吊材	Ha	03	c	c	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	吊材全体の防食塗膜が劣化している。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	吊材	Ha	05	e	e			ゆるみ・脱落									⑦その他（振動）	Ⅲ	ケーブルバンドの接合ボルトにゆるみが確認される。歩行者や風等による振動の影響によると推察される。将来的にボルト脱落やバンドの滑り等により、吊り材が機能を消失すると、一部であっても耐荷力が大きく低下し、橋全体の安全性にも影響を及ぼすことが懸念されるため、速やかに補修を行うことが望ましい。				
S	S	吊材	Ha	05	c	c	防食機能の劣化										⑥材料劣化		I	吊材全体の防食塗膜が劣化している。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)						径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31' 54.898″ 経度 136° 14' 24.304″		終点側		緯度 35° 31' 54.898″ 経度 136° 14' 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499	
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至								最新点検年月日		2017年11月2日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原 因		健全度 (部材単位)	所 見			
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性								
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定	推 定					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更 新	区分E1 の損傷							更 新	区分E2 の損傷	
S	S	吊材	Ha	19	e	e			ゆるみ・ 脱落								⑦その他 (振動)	Ⅲ	ケーブルバンドの接合ボルトに ゆるみが確認される。歩行者や 風等による振動の影響によると 推察される。将来的にボルト脱 落やバンドの滑り等により、吊り 材が機能を消失すると、一部で あっても耐荷力が大きく低下し、 橋全体の安全性にも影響を及ぼ すことが懸念されるため、速や かに補修を行うことが望ましい。		
S	S	吊材	Ha	19	c	c	防食機 能の劣 化									⑥材料劣化		I	吊材全体の防食塗膜が劣化し ている。品質の経年変化及び雨 水等の影響による材料劣化が 原因である。今後、更に腐食の 進行が懸念される為、状況に応 じて補修等を行うことが望まし い。		
S	S	塔柱	Ts	02	b	b	腐食									⑥材料劣化		I	塔柱プレート溶接部に、表面的 な腐食が確認される。品質の経 年変化及び雨水等の影響による 材料劣化が原因である。板厚 減少等は見られないが、今後、 腐食の進行が懸念される為、状 況に応じて補修等を行うことが 望ましい。		

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
				経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋 梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷				区分M の損傷	区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷			
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新			区分E1 の損傷	更新	区分E2 の損傷					
S	S	塔柱	Ts	02	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔柱全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	その他 (耐風支索吊材)	Sx	01	e	e	ゆるみ・脱落										⑦その他 (振動)	I	耐風支索吊材接合プレートของボルトにボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	その他 (耐風支索吊材)	Sx	01	c	c	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	耐風支索吊材接合プレート部全体の防食塗膜が劣化している。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	



点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)										径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋								路 線 名		大見線				管 轄						橋 梁 コー ド		22505499	
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見								距 離 標		自								調書更新年月日		2018年1月31日	
		至		滋賀県長浜市木之本町大見										至								最新点検年月日		2017年11月2日	
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見					
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性											
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷											
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更 新	区分E1 の損傷			更 新	区分E2 の損傷									
S	S	その他 (耐風 支索吊 材)	Sx	02	b	b	腐食											⑥材料劣化		I	耐風支索吊材接合プレート部に、表面的な腐食が部分的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	その他 (耐風 支索吊 材)	Sx	02	e	e	ゆるみ・ 脱落											⑦その他 (振動)		I	耐風支索吊材接合プレートのボルトにボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察され、今後、その他部位への損傷の影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				
S	S	その他 (耐風 支索吊 材)	Sx	02	e	e	防食機 能の劣 化											⑥材料劣化		I	耐風支索吊材接合プレート部全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。				

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)						径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″	終点側		緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
フリガナ 橋 梁 名		オミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線			管 轄					橋 梁 コー ド		22505499	
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標	自									調書更新年月日		2018年1月31日	
	至	滋賀県長浜市木之本町大見					至									最新点検年月日		2017年11月2日	

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		確定	推定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷					更新		
S	S	その他 (サドル)	Sx	03	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	その他 (サドル)	Sx	03	e	e	防食機能の劣化										⑥材料劣化	I	塔部サドル全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	
S	S	その他 (サドル)	Sx	04	b	b	腐食										⑥材料劣化	I	塔部サドルに、表面的な腐食が部分的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。	

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		終点側		緯度 35° 31′ 54.898″ 経度 136° 14′ 24.304″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線			管 轄						橋梁コード		22505499		
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自							調書更新年月日		2018年1月31日		
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至							最新点検年月日		2017年11月2日		
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性		緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性						
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷		更新	区分E1 の損傷					更新	区分E2 の損傷			
S	S	その他 (サドル)	Sx	04	e	e	ゆるみ・ 脱落									⑦その他 (振動)	I	塔部サドルのメインケーブルカ バープレートボルトにゆるみが 確認される。歩行者、風等による 振動の影響によると推察され、 今後、その他部位への損傷の影 響が懸念される為、状況に応じ て補修等を行うことが望ましい。			
S	S	その他 (サドル)	Sx	04	e	e	防食機 能の劣 化									⑥材料劣化	I	塔部サドル全体の防食塗膜が 劣化し、点錆が生じている。品質 の経年変化及び雨水等の影響 による材料劣化が原因である。 今後、更に腐食の進行が懸念さ れる為、状況に応じて補修等 を行うことが望ましい。			
P	C	下部工	Pw	02	b	b	ひびわ れ									⑦その他 (乾燥収縮)	I	橋脚梁部に、鉛直方向のひびわ れが確認される。乾燥収縮が原 因と推察され、ひびわれの進行 は収束していると考えられる。状 況に応じて補修等を行うことが 望ましい。			

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		2		起点側		緯度	35° 31′ 54.898″		終点側		緯度	35° 31′ 54.898″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		オオミヤハシ 大宮橋				路 線 名		大見線			管 轄						橋梁コード		22505499		
所 在 地		自		滋賀県長浜市木之本町大見				距 離 標		自							調書更新年月日		2018年1月31日		
		至		滋賀県長浜市木之本町大見						至							最新点検年月日		2017年11月2日		

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性						
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定			
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷					更新		
S	S	主桁	Mg	01	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	主桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。		
S	S	主桁	Mg	01	e	e	防食機能の劣化									⑥材料劣化	I	主桁全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。		
S	S	主桁	Mg	02	b	b	腐食									⑥材料劣化	I	主桁に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響による材料劣化が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。		





点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径間番号	1
---	------	---

起點側	緯度	35° 31' 54.898"	終點側	緯度	35° 31' 54.898"	橋梁ID
	經度	136° 14' 24.304"		經度	136° 14' 24.304"	

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋梁コード	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

[illegible]

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2
---	---------	---

起点側	緯度	35° 31′ 54.898″	終点側	緯度	35° 31′ 54.898″	橋梁ID	
	経度	136° 14′ 24.304″		経度	136° 14′ 24.304″		

フリガナ 橋 梁 名	オオミヤハシ 大宮橋		路 線 名	大見線		管 轄		橋 梁 コー ド	22505499
所 在 地	自	滋賀県長浜市木之本町大見	距 離 標	自				調書更新年月日	2018年1月31日
	至	滋賀県長浜市木之本町大見		至				最新点検年月日	2017年11月2日

工 種	材 料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性			
						区分Bの損傷	区分Cの損傷		区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷		
							区分C1の損傷	区分C2の損傷		区分E1の損傷	区分E2の損傷				
B	S	支承本体	Bh	b	b	腐食								I	支承本体に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
B	S	支承本体	Bh	e	e	防食機能の劣化								I	支承本体全体の防食塗膜が劣化し、点錆が生じている。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。今後、更に腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
B	S	支承本体	Bh	e	e				土砂詰まり					Ⅱ	支承周辺に土砂堆積が確認される。維持工事で対応することが望ましい。
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e	ゆるみ・脱落								I	アンカーボルトのボルトにゆるみが確認される。歩行者、風等による振動の影響によると推察され、今後、ボルト、その他部位への損傷の影響が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
R	X	舗装	Pm	e	e	舗装の異常								I	橋面の滑り防止シートの部分的なはがれが確認される。状況に応じて補修等を行うことが望ましい。
R	S	防護柵	Gf	c	c	腐食								I	防護柵に表面的な腐食が局部的に確認される。品質の経年変化及び雨水等の影響が原因である。板厚減少等は見られないが、今後、腐食の進行が懸念される為、状況に応じて補修等を行うことが望ましい。

